

ハイロー カントリー



THE HI-LO COUNTRY

WOODY HARRELSON BILLY CRUDDUP PATRICIA ARQUETTE

POLYGRAM FILMED ENTERTAINMENT PRESENTS IN ASSOCIATION WITH MARTIN SCORSESE

A WORKING TITLE PRODUCTION WITH CAPPÀ / DE FINA PRODUCTIONS EXECUTIVE PRODUCER RUDD SIMMONS

PRODUCED BY BARBARA DE FINA & MARTIN SCORSESE AND ERIC FELLNER & TIM BEVAN CO-PRODUCER LIZA CHASIN DIRECTED BY STEPHEN FREARS

SCREENPLAY BY WALON GREEN MUSIC BY CARTER BURWELL EDITOR MASAHIRO HIRAKUBO DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY OLIVER STAPLETON, B.S.C.

BASED ON NOVEL BY MAX EVANS ©1998 POLYGRAM FILMED ENTERTAINMENT DISTRIBUTION, INC. ALL RIGHTS RESERVED

1999年第49回ベルリン国際映画祭 銀熊[最優秀監督]賞受賞

スティーヴン・フリアーズ監督作品 / マーティン・スコセッシ製作

ウディ・ハレルソン / ビリー・クラダップ / パトリシア・アーケット

ベネロ・クルス / コール・ハウザー / サム・エリオット 原作: マックス・エヴァンス / 脚本: ウォロン・グリーン / 撮影: オリヴァー・ステイブルトン / 音楽: カーター・パーウェル

1998年アメリカ / ポリグラム・フィルムド・エンタテインメント提供 / ワーキング・タイトル・プロダクション作品 / 原作: 角川書店 / サウンドトラック: ヒートウェーブ

提供: アスミック・エース エンタテインメント、テレビ東京、WOWOW、角川書店 / 配給: アスミック 西武映画 西武音楽

第二次世界大戦後、ニューメキシコの空の下

男と女の胸を熱くする物語があった

ついに映画化された、巨匠サム・ペキンパの幻の企画



魂を焦がして

ハイロー カントリー

THE HI-LO COUNTRY



1999年第49回ベルリン国際映画祭
銀熊[最優秀監督]賞受賞

監督:スティーヴン・フリアーズ/原作:マックス・エヴァンス
脚本:ウォロン・グリーン/撮影:オリヴァー・ステイブルトン
音楽:カーター・パーヴェル/製作:ティム・ビーヴァン&エリック・フェルナー
マーティン・スコセッシ&バーバラ・デ・フィーナ
出演:ウディ・ハレルスン/ビリー・クラダップ/パトリシア・アークエット
コール・ハウザー/ベネロペ・クルス/サム・エリオット
1998年アメリカ/ボリグラム・フィルムド・エンタテインメント提供
ワーキング・タイトル/プロダクション=マーティン・スコセッシ=デ・フィーナ&カッパ作品
カラー/1時間54分/スコープ・サイズ/ドルビー-SRD、SDDS/日本語字幕:岡田社平
原作:角川文庫/サウンドトラック:ヒートウェーブ/提供:アスミック・エース エンタテインメント、
テレビ東京、WOWOW、角川書店/配給:アスミック

あのベックと
カントリー界の大家所
ウイリー・ネルソンが組んだ
『Drivin' Nails In My Coffin』
を含むサウンドトラック、
ヒートウェーブより
10月21日発売決定!



ペキンパ、スコセッシ、 フリアーズが完成させた幻の企画

発端は映画「カジノ」の制作現場、マーティン・スコセッシ監督に名脇役L・Q・ジョーンズが映画化されなかった小説の話を話した。第二次世界大戦後のニューメキシコを舞台に、魅力的な女性モナとふたりのカウボーイ、ビートとビッグ・ボーイの愛情をリカルに描いた物語。それこそ巨匠サム・ペキンパが映画化を切望し果たせなかった企画だ。スコセッシは強い興味を持ち、自らをプロデューサーに、監督を「グリフターズ/詐欺師たち」で組んだスティーヴン・フリアーズに託した。ここに映画「ハイロー・カントリー」が誕生。本作は見事に1999年ベルリン映画祭銀熊[最優秀監督]賞に輝いた。

男がいて、女がいて、愛がある

第二次大戦後のニューメキシコ。青年ビートは戦地から広漠とした牧場ハイロー・カントリーへ戻ってきた。しかし、大半の牧場が戦争で成り上がったジム・エドに占有されていた。尊敬する友人ビッグ・ボーイはまだ帰郷して、彼の弟リトル・ボーイはジム・エドの手下となっていた。ビートはフェスティバルに行き、ジム・エドの手下の妻で魅力的な女性モナに出会う。恋人ジョセファに愛を囁きながらもモナに惹かれていくビート。そんな時、ビッグ・ボーイが帰ってきた。ビートとビッグ・ボーイは隣接する牧場を所有するフーヴァーと組み、ジム・エドに対抗する。ある夜、ビッグ・ボーイがビートに恋人を紹介すると言う。月の光に照らし出されたその恋人はモナだった…。



失われていくものに対するオマージュ

牛はカウボーイが移動させるのでなくトラックで運搬、牧場は会計士が収支を計算し経営する。ビートとビッグ・ボーイはそうした時代に帰ってきた。しかし、彼らは変わらなかった。男の中の男、気概を忘れていないカウボーイのまま。そんなビート、ビッグ・ボーイと仲間たちは、ジム・エド=時の流れに対して敢然と立ち向かう。「ハイロー・カントリー」には失われていくものに対するオマージュが、脈々と流れている。

誰にも伝えられない想いがある

ビッグ・ボーイ、リトル・ボーイ、ビート。男同士の友情から昇華した深い愛情、憧憬と尊敬、超えられない存在への愛憎。時代が移る狭間で、自身の決着を着けなくてはならなくなる3人。

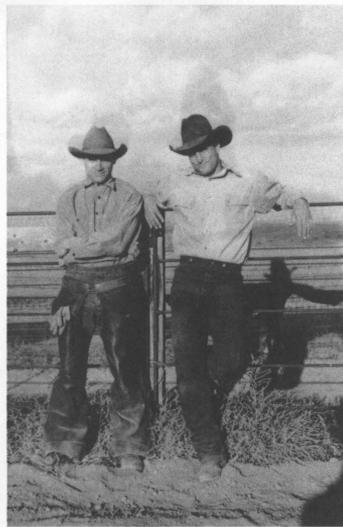
一方、愛情のベクトルが飛び交うビッグ・ボーイ、モナ、ビート、ジョセファ。美しい恋人ジョセファがいるにも拘らずモナに傾くビートの心。しかも、モナは尊敬するビッグ・ボーイの恋人。そして、長い時期を耐え忍びビッグ・ボーイとの愛をつかんだモナ。複雑に絡みあい、形成されていくそれぞれの愛情。運命の流れの中で、男と女の熱い思いは大きな分岐点を迎えていく。



映画史の伝説の企画を成功させた 熱いスタッフ、キャスト

『ケーブル・ホグのバラード』にも出演した西部小説の巨人マックス・エヴァンスの原作を、「ワイルド・バンチ」のウォロン・グリーンが脚色。監督は、時代と運命の流れの中で生きる人間を細やかな感情で表現した「マイ・ビューティフル・ランドレット」のスティーヴン・フリアーズ。撮影は「グリフターズ」のオリヴァー・ステイブルトン。音楽は「ファゴ」などコーエン兄弟全作品を手掛けるカーター・パーヴェル。美術と衣装は「ロスト・ハイウェイ」などデイヴィッド・リンチ作品を手掛けるパトリシア・ノリス。編集は「ザ・ビーチ」までダニー・ボイル全作品を手掛けるマサヒロ・ヒラクボ。製作はコーエン兄弟、ティム・ロビンズ作品を手掛けるティム・ビーヴァン&エリック・フェルナーが、スコセッシと名バートナーのバーバラ・デ・フィーナと組んだ。

ビッグ・ボーイには「ラリー・フリント」のウディ・ハレルスン。ビートには「スリーパーズ」のビリー・クラダップ。モナには「ロスト・ハイウェイ」のパトリシア・アークエット。そして、物語を決着に導くリトル・ボーイに「グッド・ウィル・ハンティング/旅立ち」のコール・ハウザー、ビートの恋人ジョセファに「ライブ・フレッシュ」のベネロペ・クルス、ジム・エドに「ビッグ・リボウスキ」のサム・エリオット、ペキンパ作品常連のカティ・フラドも顔を見せている。



2000年新春 愛のロードショー!!

●特別鑑賞券絶賛発売中 1,500円(当日一般1,800円の処)

●劇場窓口にてお買い求めの方に特製ポストカード(限定)をプレゼント!

●劇場窓口、阪神、東映、エスト 1PG、チケットぴあにてお求めください。

梅田ロフトB1 06(6359)1080

テアトル梅田

http://www.cinemabox.com/

*上映日程タイムテーブルは劇場までお問い合わせください。